

地方財政の充実・強化に関する意見書採択についての陳情

陳情者

伊勢崎市中央町 30-4
日本労働組合総連合会群馬県連合会
伊勢崎地域協議会 議長 宮下 和夫

陳情の内容

社会保障の充実、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地方公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それを支える人件費を重視し、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実をはかることなど、地方財政の充実・強化を求める全10項目の意見書を国へ提出すること。

総務経済常任委員会における審査

不採択とすべきもの

[採択1名・趣旨採択1名・不採択3名]

本会議における審議

賛成全員で不採択

委員の主な意見

採択 地方がある程度行政サービスを一般住民に提供できるようにレベルの人員を確保するためには財源確保というのは、どうしても必要だと思うので、採択すべきである。

趣旨採択 地方がいろいろやるのに対して、大変であるということは、私は認めたいと思うので、趣旨採択と考える。

不採択 地域ごとに実情に応じた慎重な政策判断と補完策の設計が求められるというようなことは、いろんな課題が多いということで、これを町の議会として、採択することは難しいということで不採択と考える。

Tama Voice

水道事業は町の重要なインフラです。安全で安心な水を供給するため、水道料金の値上げは、やむを得ないと思いますが、尚一層の効率的な運営により、値上げ幅を極力抑えるように努力していただきたいです。

松浦 正さん（飯塚）



水道料金を値上げ

平成17年に料金改定して以来、17年間料金を据え置いてきたが、給水人口の減少等により、水道料金収入が減少するとともに、老朽化が進む管路や施設を計画的に更新するため、令和7年4月より料金を値上げ。

利用者増に伴う自立支援費を追加

自立支援給付事業

960万円

利用者増による自立訓練事業費の増額。

新型コロナウイルスワクチン接種

予防接種事業

5763万円

秋から始まる新型コロナウイルスワクチン接種にかかる必要経費。

給付対象世帯数が見込みを上回る（臨時会）

給付対象である、令和6年度新たに住民税非課税となった世帯、及び住民税均等割のみ課税となった世帯が、当初の想定を上回ることが判明したため、事業費を追加。

住民税非課税世帯に対する給付金事業

1006万円

住民税均等割のみ課税化世帯に対する給付金事業

2510万円

税金の控除対象を追加

新たな公益信託制度の創設に伴い、公益信託事務に関する寄附金を寄附金税額控除の対象に追加し、能登半島地震災害による、住宅や家財等の資産について損失が生じたときは、令和5年分の雑損控除として適用を受けることができる特例を設ける。

その他

法人町民税等の還付

住民税賦課

4053万円

企業の確定申告により超過分の法人町民税等を還付。

三役の給料を減額（臨時会）

町職員が業務上横領の容疑により、逮捕されたことに伴い、町長、副町長及び教育長について管理監督責任を負うべきとの考えから、8月分給料を10%減額。

和解及び損害賠償の額を決定（臨時会）

5月9日、県道藤岡大胡線脇の町管理農業用水路（上之手地内）の除草作業時に、刈払い機により石が飛び、信号待ち停車していた車両を破損。損害賠償額

41万円

寄附金を幅広く活用へ

読書の推進に関する運動のためにいただいた寄附金を、図書館活動などにも幅広く活用するため、条例を改正。

人事案件

同意（賛成全員）

人権擁護委員候補者の推薦

町田 由子さん（上之手）再任
令和9年12月31日まで

長谷川 智美さん（南玉）新任
令和6年10月1日から3年間

齋藤 修一さん（飯倉）新任
令和6年11月1日から3年間

固定資産評価審査委員会委員の選任

令和6年11月1日から3年間

教育委員会委員の任命

内田 美智子さん（上茂木）新任
令和6年10月1日から4年間

議会だよりを考える（全国町村議会広報研修会報告）

町村議会広報コンクールにて、4年連続で最優秀賞（第1位）を受賞した議会だよりがあります。それは埼玉県寄居町の「お元気ですか 寄居議会です」です。今回の研修では、寄居町の議会広報紙作成のための考え方や具体的な作成過程を詳しく伺い、大きな刺激を受けました。

「読まれない議会だよりに出す意味なし！」（寄居町編集方針）

これは、寄居町の議会だより作成のスローガンであり、理念です。議員は町の現状を包み隠さず伝えることや町民の生の声を伝えることに力を注いでいます。その結果、議会だより作成の過程が議員の活動を喚起することとなり、記事作成のための日常的な取組が行われることとなります。この議員の活発な取材活動により、寄居町の議会だよりは住民目線の読まれる議会だよりとなっているのではないかと思います。

「これからの玉村町の議会だより」

玉村町も住民の声を上げた「TamaVoice」や過去の一般質問のその後を伝える「追跡」、各種団体との意見交換を紹介する「VOICE」等の企画を立ち上げ、徐々にではありますが、議会だよりの改革に



9月25日（水）
ニッショーホール
（東京都港区）

取り組んでいます。今回の研修では、寄居町の議会だよりによって強い刺激を受け、今まで以上に玉村町らしい読まれる議会だよりを目指していきたいとの思いを強くしました。まだ改革半ばではありますが、ぜひ、以前との違いを感じていただければ幸いです。